

## 2025 年度順天堂大学一般選抜 A 日程

### 「世界史」入試問題 出題意図

#### 第 1 問

- A) 「帝国主義の時代」に先鋭化した欧米列強によるアジア・アフリカ進出の中で、とりわけ現在、世界大国に返り咲いた中国が、当時受けた歴史事実を、年表により理解度を評価する問題である。
- B) 第二次世界大戦後の、いわゆる「米ソ二強」構造内で生じた国際組織の展開史を概観し、それに対して第三極としてのヨーロッパの再興についての理解度を評価する問題である。

#### 第 2 問

「草原の道」を中心に活躍した遊牧民族の展開を紀元前からモンゴル帝国の成立まで概観し、中央ユーラシア内で勃興した諸勢力に関して、短文正誤形式により、その理解度を評価する問題である。

#### 第 3 問

現西ヨーロッパ主要国ドイツ・フランス・イタリアの成立起源、すなわちゲルマン民族の大移動、異教徒フランク族のキリスト教への改宗による「カールの戴冠」を概観し、この結果である「中世西ヨーロッパ・キリスト教的封建社会」の成立についての理解度を評価する問題である。

#### 第 4 問

現在に通じる「世界の一体化」を概観する中で、当時先進地域のスペイン・ポルトガルの活動、その後力を付けたオランダ・イギリスの世界展開、植民地大国として世界最強国に躍り出た大英帝国の出現との、世界の海上覇権の推移に関する理解度を評価する問題である。

#### 第 5 問

「自由な国＝アメリカ」は周知である。しかし建国期はアングロサクソン系による先住民への過酷な抑圧、また奴隷制度容認のダブルスタンダードの価値観に基づいていた。そのお陰かアメリカ合衆国は、短期間で世界最強国に匹敵する経済力を獲得した。この間のアメリカ合衆国史に関する理解度を評価する問題である。